

**定期帯状疱疹予防接種**

**受診前に必ずお読みください**

定期帯状疱疹予防接種を受ける際には、次のことに注意しましょう。

また、裏面の「説明書」をよく読み、理解して受けましょう。

1. 実施期間：令和７年４月１日～令和８年３月３１日
2. 対象者

・65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳・100歳以上

・60歳以上65歳未満で下記に該当する方

心臓・腎臓・呼吸器の機能の障害がある方、ヒト免疫不全ウイルスにより

免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。概ね、身体障害者手帳1級

1. 医療機関へ予約が必要です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **医療機関名** | **ワクチンの種類** | | **電話番号** | **医療機関名** | **ワクチンの種類** | | **電話番号** |
| **水痘** | **帯状**  **疱疹** | **水痘** | **帯状**  **疱疹** |
| 県立南宇和病院 | **〇** | **〇** | 72ｰ1231 | かんクリニックAINAN | **〇** | **〇** | 72ｰ2225 |
| 粉川ﾌｧﾐﾘｰｸﾘﾆｯｸ | **〇** | **〇** | 72ｰ2111 | 西本病院 | × | **〇** | 73ｰ2121 |
| 竹本医院 | **〇** | **〇** | 72ｰ3271 | 岡沢クリニック | **〇** | **〇** | 70ｰ1511 |
| 松本クリニック | **〇** | **〇** | 84ｰ2001 | 沢近医院 | **〇** | **〇** | 72ｰ0038 |
| 国保一本松病院  （福浦診療所） | **○** | **〇** | 84ｰ2255 | あいなん整形外科クリニック | **×** | **〇** | 73ｰ7870 |
| 御荘診療所 | **〇** | **〇** | 74－0111 | 内海診療所 | **〇** | **〇** | 85ｰ0341 |

町内委託医療機関　　　　　　　　　※２種類のワクチンどちらを接種するかお伝えください。

※県外の医療機関で接種を受ける場合は償還払いとなります。

1. 助成額および助成回数、自己負担額

２種類のワクチンからどちらか一方を選択します。

【　水痘ワクチン　】助成額　4,360円/回　助成回数1回　自己負担額 4,500円

【帯状疱疹ワクチン】助成額 10,000円/回　助成回数2回　自己負担額 12,060円

※帯状疱疹ワクチンは1回目から２か月あけて２回目を接種します。

※生活保護受給者の方は、所定の手続きにより無料で接種できます。

⑤接種の際には次のものを持参しましょう。

　・予防接種通知書　・予診票(ピンク)　・本人確認ができるもの(保険証等)　・自己負担金

　　※予診票がなければ、予防接種を受けることはできません。

**帯状疱疹ワクチン予防接種説明書**

愛南町保健福祉課

**■　帯状疱疹について**

　帯状疱疹は、水痘(みずぼうそう)のウイルスが原因で起こります。水痘が治った後もウイルスは体内に潜伏していて、加齢や過労、ストレス等で免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して帯状疱疹を発症します。

**■　ワクチンの種類・効果と副反応**

　水痘・帯状疱疹ウイルスに対する免疫が増強され、帯状疱疹の予防が期待されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 【生ワクチン】  乾燥弱毒性**水痘ワクチン**  販売名：ビケン | 【不活化ワクチン】  乾燥組換え**帯状疱疹ワクチン**  販売名：シングリックス |
| 接種方法 | 皮下注射 | 筋肉注射 |
| 接種回数 | １回 | ２か月以上の間隔をおいて２回 |
| 発症予防効果 | 約５０％ | 約９０％ |
| 持続性 | ５年程度 | １０年程度 |
| 副反応 | 注射部位の発赤、掻痒感、熱感、腫脹、疼痛等。重大な副反応として、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病などが現れることがあります。 | 注射部位の疼痛、発赤、腫脹、筋肉痛等。重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー反応を含む過敏症状が現れることがあります。 |

■　**接種してはいけない人**

　１．接種当日、明らかに発熱のある者（通常は37.5℃を超える場合）

　２．重篤な急性疾患にかかっている者

　３．予防接種の接種液の成分により、アナフィラキシーショックを起こしたことがある者

　４．その他、予防接種を行うことが不適当な状態と医師が判断した者

**■　予防接種を受けた後の注意事項**

１．接種後30分間は、急な副作用が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。

２．接種当日の入浴は差し支えありませんが，注射した部位をこすることはやめましょう。

３．接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつもどおりの生活をしましょう。激しい運動や大

量の飲酒は避けましょう。

４．接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、

速やかに医師の診察を受けてください。

**■　予防接種による健康被害救済制度**

定期予防接種を受けたことにより、健康被害（疾病・障害又は死亡）が生じた場合には、国が認定を行い、予防接種法に基づく給付を受けることができます。